

新潟県

公民館だより



8

August 2022
No. 820

TOPICS



主会場は新潟市江南区文化会館



度、引き
続き、主
会場と各
市町村の
会場を結
ぶオンラ
イン開催
がメイン

7月22日(金)に第72回新潟県
公民館大会が新潟市江南区文
化会館で開催されました。コ
ロナ禍3年目の今年度も昨年



前日・当日ともに、県内市町村会場や沖縄の講師との通信テスト



でした。しかし、大会関係者
や新潟市内25公民館の関係者
など60人以上の方が主会場に
集まり、対面とオンラインを



祝電も掲示（開会式で紹介）



●受付を設置

「変化する社会と公民館
の役割」
地域に誇りと魅力が持
てる地域づくり、人材
育成

併用したハイブリッドともい
える形式を取り入れることが
できました。

〈大会主題〉

準備万端、いよいよ開会式
開会のことば
渡部和人 実行委員長
(新潟市中央公民館長)



主催者あいさつ

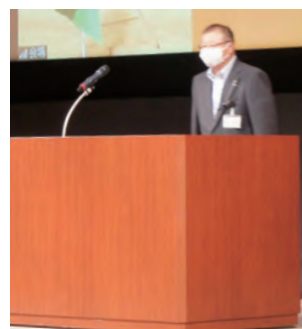
新潟県公民館連合会
久保田千昭 会長
(小千谷市公民館長)



特集

第72回新潟県公民館大会を振り返って

開催地あいさつ

新潟市教育委員会
井崎規之 教育長

永年勤続者表彰

代表 青木達男様

(新潟市小須戸地区公民館)



受賞者20名を代表して、新潟市会場の青木達男様が謝辞を述べられました。



各会場でも表彰状を授与

新発田市 木滑二十子様

上越市会場70名の参加者
全体の開会前に受信会場でのセレモニー

講演会

講師は沖縄からZoomで配信

講師：沖縄県那覇市繁多川公民館長 南信乃介氏

演題：「地域をつなぐ公民館のしあさってー那覇市繁多川公民館の事例から考えるー」

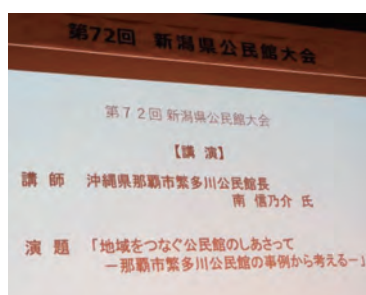
のしあさってー那覇市繁多川公民館の事例から考えるー



各会場でプログラム等の冊子と講演会の冊子を参加者に配布

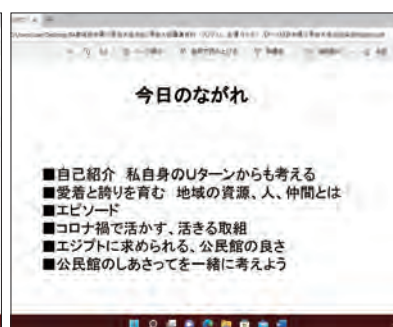


講師の南先生の顔がぱっちり



新潟市会場のスクリーン

地域に愛着と誇りを育み、小中高生から幅広い年代が集まる公民館を実現している。

「すべての人々に対し、1万人規模（生活圏）で社会教育を通した持続可能な地域社会の仕組みをつくり、その事例で社会に貢献する。」をミッションにして活動している。
まず、地域に伝わる大豆（青ヒグ）を栽培し、島豆腐づくりの活動から始めた。

燕市会場で講演会を視聴



新潟市会場では大画面を通して視聴



●講演後の質疑応答

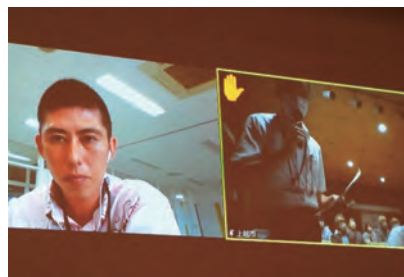
まずは新潟市会場から質問



続いて佐渡市会場から質問



最後に上越市会場から質問



各会場からの質問は、講演内容に加えて、沖縄の公民館の歴史や離島の環境、学校とのかかわりなどを踏まえたいずれも質の高い質問で、会場から感嘆の声が聞こえました。

閉会式

大会旗引き継ぎ

新潟市から村上市へ



次期開催地あいさつ

太田秀哉 村上市地区公民館長



閉会のことは

新潟県公民館連合会

佐久間伸一 副会長

(胎内市中央公民館長)



主会場の新潟市をはじめ29市町村のご協力・ご尽力により、実りの多い大会が開催できました。昨年度開催の十日町市をはじめ近隣市町村の皆様のご尽力でできた初のオンライン開催の経験を生かして、前日の回線テスト、当日の本番ともスムーズに大会の進行ができました。29会場の参加者合計は407人で、対面開催の3年前とほぼ同じでした。

◆◆◆ 令和4年度新潟県公民館大会 永年勤続者表彰受賞者名簿 ◆◆◆

氏名	所属
1 佐々木美香様	糸魚川市根知地区公民館
2 藤岡 智子様	糸魚川市上南地区公民館
3 村松千恵子様	上越市浦川原地区公民館
4 角張 寛美様	上越市柿崎地区公民館下黒川分館
5 太田 昭男様	上越市柿崎地区公民館川西分館
6 平田 良一様	上越市柿崎地区公民館下黒川分館
7 上野 秀平様	上越市高士地区公民館
8 秋山 克 様	上越市新道地区公民館
9 横尾 篤子様	上越市牧地区公民館
10 太田 修二様	上越市牧地区公民館
11 蝶名林和男様	見附市中央公民館
12 土田 秀 様	見附市中央公民館
13 有本 由里様	加茂市公民館
14 佐藤 俊夫様	加茂市公民館
15 清水 芳美様	加茂市公民館
16 神尾 一弘様	五泉市公民館
17 木滑二十子様	新発田市生涯学習課
18 小川 勲様	村上市荒川地区公民館
19 中野 敬一様	阿賀町公民館津川分館
20 青木 達男様	新潟市小須戸地区公民館

講演会ではオンラインの利点を生かし、遠方の沖縄の公民館長を講師にお願いすることができました。さらに、主会場に加えて受信会場からも質問があり、オンライン開催が定着したと感じています。閉会式での次期開催地の村上市からのあいさ

つにもあったように、来年はさらなる工夫や進展があるのではないかと期待しています。
なお、今回の県大会の様子は新潟市からのオンデマンド配信で見ることができます。その情報は各市町村の中央公民館にあります。
(事務局 五井)



あがの ボタニカルアートの会 (阿賀野市)

植物細密画に取り組むこの会は、平成20年に3人から始まり、15年間の活動の中で現在20名の会員になっています。

月2回の例会では描くことを楽しみ、それぞれの作品を相互に評価し合い、植物の絶妙な仕組みに驚きとともに畏敬の念を抱き、魅力を語り合います。

作品は秋の文化祭、新潟植物画クラブとの合同展に出展します。合同展は、私どもの会が主催し、先輩格である新潟植物画

クラブの出版を受け、私どもの作品と並べ公民館ギャラリーで開催します。令和4年の今年は第7回を数え、楽しみにされているファンも多く、人気を博していると自負しています。展示作品は各自が画材に選んだ植物の一般作品のほか、「万葉集の植物」、「五月のバラ」といった課題作品コーナーを設けています。次年度の課題「ナス科の植物」に早速取り組みを始めています。5月の合同展の後2名の



相互に評価をし合う

方が新たに入会しました。
(代表 伊藤道秋記)



合同展会場

視点

「本筋を あきらめない力」

小千谷市公民館

館長 久保田千昭



久々に、公民館という現場に戻って3年目。この春から中越地区公民館連絡協議会会長となり、併せて新潟県公民館連合会会長をさせていただいています。先般は、新潟県公民館大会に多くの方から参加・協力をいただきありがとうございました。講演をしていただいた、繁多川公民館館長南信之介さんの素晴らしい取り組みを聞きながら、日々このことを考えてみました。

多分、皆さんの公民館も似たような事業は、過去も含めやってこられたと思います。私自身、高齢者から地域に伝わる年中行事や料理を聞き取り、子どもたちに聞かせたり、調理実習を講座として実施した経験があります。しかし、南さんのように深掘りして、次のステップに進むことができませんでした。どこに違いがあったのだろうかと自問自答しました。

その結果、根幹を「現場」におきながら「地域の人に対してアンテナを張る力」「つながり合わせる力」そして「あきらめない力」を強く持ち続け行動することの違いであったと気づきました。

公民館に来た人の、「ため息や愚痴」を聞いたならそれは課題。「他に同じようなことを言っている人はいないか」は、調査。「それを事業化するには誰にきいたらいいか」は、人

材。「実施するときに同じことを考えているところはないか」は、連携。そしてその時々には生じる問題を粘り強く解決に向かって進めていく。

これらの、一連の過程は公民館事業だけでなく、きっと自分自身の成長をも促してくれることでしょう。後は実践あるのみと自分に語りかけています。



実践記録シリーズ

ふるさとだいすき講座

聖籠町公民館

聖籠町と聖籠町教育委員会では、令和4年度からの新規事業として、町ぐるみで小学生に町の魅力や特色について学んでもらう「ふるさとだいすき講座」を実施しています。

1 目的

①「聖籠町に生まれてよかった、住んでよかった」と思えるように、町の歴史や文化、産業、偉人、地理などについての見識を深め、ひいては郷土愛を醸成してもらいたい。

②子供たちが将来、多くの人と出会う中で胸を張ってふるさとを語れるようになってもらいたい。

この目的から、町内小学校の授業に講座を組み込み、町ぐるみで小学生に町のよいところや自分の郷土についてより知ってもらいたいと考えています。

なお、本講座は町の総合計画である『第5次聖籠町総合計画』の「小中学校における環境学習や郷土学習の推進」事業の一環になるものです。



「町の観光と果樹」講座風景

2 内容

当町には小学校が3校あります。この3校それぞれに、町の特色やすがたを知ってもらうため、町東港振興室が「東港の成り立ち」「産業観光課が「町の観光と果樹」、図書館が「町の偉人」、社会教育課が「町の歴史」と、各課が小学3～6年の学習指導要領や授業の進捗にあわせて日程調整を行い、講座を行います。昨年度に講座内容と受講の学年と時期を検討しました。

3 講座の様子

今のところ「町の観光と果樹」と「町の歴史」の一部が終了しています。講座終了後に次年度によりよい講座を行うため小学校の先生と子供に講座を受けてのアンケートをお願いしています。

先生からは「聖籠町の特色がわかってよかった」



「町の歴史」講座風景

4 今後について

今年度はじめたばかりでまだ途中ですが、アンケートの回答を見る限りは概ね好評のようです。

今後、今年の講座について検証し、次年度さらによりよい事業にしていきたいと考えています。

受講した子供たちからは「町のことがよくわかった・好きになった」「町で色々な果物が作られていることがわかった」「普通の社会の歴史の授業では、学べないことやわからないことがわかってよかった」「土器などを見たりさわったりできて、いつも以上に歴史の勉強が楽しかった」「これから学ぶ歴史の授業がもっと楽しになりました」といった意見がありました。

素顔拝見



新潟市教育委員会
西地区公民館副主査 荒木 景子さん

今年4月に異動して
きた荒木景子さんを紹
介します。

荒木さんの勤務する
西地区公民館はJR越

後線内野駅から徒歩8分にある築40年を超
える施設です。永い間地域の皆様に親しま
れ、利用していただいているので、あち
こちに傷みが目立ちます。「卓球台が壊れ
ているよ」「マイクの調子が悪いみたい」
……さあ、荒木さんの出番です！業者さん
を探し、見積書をもらい、冷静正確かつ迅

速に対応します。契約規則や諸々の規則と
の照合も抜かりありません。また、穏やか
な口調や仕草からは、おっとりした印象を
受けますが、財務部に所属していた経験を
活かし、公民館使用料の窓口収納や切手の
保管方法の見直しを実行するなど事務の改
善にも積極的です。

今日は公民館事務室にまで赤ちゃんの元
気な泣き声が聞こえてきます。「ゆりかご
学級」の始まりです。先輩職員に支えられ、
主担当の荒木さんが元氣一杯張り切ります。
健康第一、明るい笑顔で今後も一層の活
躍を期待しています。

〔西地区公民館館長 寺崎友規記〕

インフォメーション

第44回全国公民館研究集会・第62回関東 甲信越静公民館研究大会茨城大会

オンデマンド配信(R4.10.27～R5.7.31)が主、分科会
はオンライン(Zoom)あり

テーマ：だから公民館、やっぱり公民館
～公民館の今を学び 明日を見つけ 地域を創る～

全体会：令和4年10月27日(木)

開催県事例発表「～人生100年時代～

『かさま志民』への学びの場」

分科会：令和4年10月28日(金)

12:30～15:50(Zoom)

第3分科会で 新潟市中央公民館 館長補佐

村山 明さんが発表します。

*全体会・分科会ともに令和5年7月までオンデマン
ド配信

※詳しくは各市町村の中央公民館にパンフレットをお
送りします。

県立生涯学習推進センター創立30周年記念事業

①日時：令和4年10月15日(土)

1日開催、講演会は午後

②会場：県立生涯学習推進センター

(新潟市中央区女池南3-1-2)

③内容：①記念講演会 14:00～15:30

講 師：伊勢みずほ 様

テーマ：「話すことは放すこと ～キャンサー
ギフトという生き方～」

②体験ブース

参加団体による、参加者が体験活動を楽し
むコーナー

③研修会

参加団体による、生涯学習に関する研修会

編集後記

この度の下越地方の水害で被災された皆様にお見舞いを、暑い
中、被災地支援に当たられている皆様に感謝を心から申し上げます。
公民館職員の皆様も災害発生時から心身ともに大変な日々を
お過ごしのことと思います。

今回の水害 新潟県では幸い犠牲者がなく済みました。55年前
の下越水害の経験を生かした地域での防災意識の高さが取り上げ
られています。今後、公民館には避難訓練や防災教育の拠点とし
ての役割などがより一層求められてくると考えています。(五井)

NEW
宝くじ

すぐ買える 当たりがわかる **クイックワン**

宝くじ
公式サイト

宝くじ
公式サイトで
発売中!
今すぐ会員登録!

宝くじ公式サイト

<https://www.takarakuji-official.jp/>

宝くじの収益金は
私たちの街の
公共事業等に
役立てられています。